

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間： 2019/02/06 ～ 2019/03/05)

1. 勉学の状況

授業が始まってから一ヶ月がたち、どの授業にも慣れてきました。今月の終わりにかけて、中間テスト、中間課題提出の週が設けられており、特に課題提出直前などは忙しい時期を過ごしました。スペイン語中級では、ブラジルの学生などが比較的スペイン語を流暢に話すことができるので、授業についていくのを難しく感じることもあります。スペイン語の単語帳を使って自主的に勉強したり、初級クラスにも参加したりして、スペイン語の向上に努めています。スケッチのクラスでは、例えば立体のキューブを400個描くなど課題の量が多いです。しかし各授業で新たな技法を学ぶので、毎回興味深い授業です。英語のクラスは、ニューヨークのSUNY大学の学生とストレスに関して共同で作業を進めており、最終的にはプレゼンを行う予定となっています。セラミック加工とウッド加工の授業は、各自で作品制作の作業を進めてそれが評価されます。写真のクラスは授業がスペイン語のみで進められるので、授業後に教授に内容を確認して対応しています。ラテンダンスクラスでは、メキシコの現地学生と交換留学生が参加しており、三種類のダンスを練習しています。



2. 生活の状況

メキシコモンテレイでの生活には完全に慣れて、ストレスなく生活できています。モンテレイ大学には交換留学生をサポートするためのI-linkという学生団体があり、頻繁に留学生向けのイベントを企画しています。私のチューターがI-linkのリーダーなので、予定がない限りイベントに参加しています。中でも興味深かったのは人生初経験のペイントボールです。本格的な空気銃が支給されて、30人ほどでペイントボールを撃ち合いました。球はビー玉ほどのサイズなのですが当たるとかなり痛かったです。またバンジージャンプにもチャレンジしました。私は高所恐怖症なのでこれが最後のバンジージャンプになると思います。あまりできない経験ができました。日本人留学生とも仲良くなり、寿司パーティを企画したり、BBQをしたりしました。ラテンアメリカでは日本のような寿司がアジアほど一般的ではないので、メキシカンスタイルの肉をメインにしたメキシカン巻寿司を作りました。コロンビアのルームメイトとも仲良くなり、次の休暇



寿司パーティ

には旅行に行く予定です。3月のはじめでセ
ミスターがちょうど中間を迎えます。これま
でのメキシコ留学はあっという間だったので、
毎日を大切に過ごそうと思います。